

● H20年度以降の取組み

努力します

平成20年度以降も、
更なる向上に取り組めます。



- 現在CO₂の増加によって、地球温暖化の問題が深刻化しています。今後はより一層渋滞緩和などによるCO₂を削減することが必要です。このようなCO₂の削減効果について、広報誌やホームページなどで積極的に広報を行い、ドライバーの方々にその重要性について理解していただけるよう努力します。

ECO-ROAD

エコロード・キャンペーン参加宣言

エコドライブ ミュージックゲーム

現在のエコロード登録者数 24487人

エコドライブ度チェック

道路ってエコ

エコロード各地の取り組み

関連リンク

お問い合わせ

国土交通省道路局HP
(<http://www.eco-road.jp/top.html>)

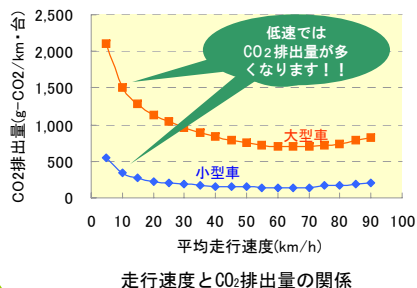
- 渋滞対策を実施することで、CO₂削減に貢献します。
- エコドライブの普及により、自家用車から排出されるCO₂の削減を推進します。
- 渋滞の多い市街地では、大気を浄化して大気汚染の影響を緩和するため、植樹などを行って道路緑化を行います。

自動車を「上手に乗る」ことが大切！ エコドライブとは？

- エコドライブとは、アイドリングストップや急発進や急ブレーキなど、環境に負荷のかからない自動車の乗り方を言います。
- 平成18年6月に、警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省を関係省庁とするエコドライブ普及連絡会において、『エコドライブ普及・推進アクションプラン』を取りまとめ、普及促進を図っているところです。

渋滞が減るとCO₂排出量が減ります。

- 渋滞すると、走行速度が遅くなり、ガソリン等の燃料消費が多くなります。
- その結果、CO₂排出量が多くなります。



●広域ネットワークの形成

アウトカム指標：⑦高速IC30分圏人口カバー率
アクセス性が良く、住む場所を問わない道路整備を示す指標



山口県民の皆様の10人中9人は
高速ICにアクセス可能です

山口県の医療状況

山陰地域の高度治療のニーズが高まっています

- 山陰地域では、高齢化の進展により高度で専門的な治療の必要性が増加していることから、第3次医療施設へ短時間で搬送するための、道路整備の要望が高まっています。

長門市消防本部の声

- 心筋梗塞や、解離性大動脈瘤等の専門的治療かつ高度な治療が必要な患者が増加したため、3次医療施設への転院搬送件数が、増加している。
- 将来地域住民の高齢化が加速し、救急件数の増加が見込まれ、さらに救急医療がより高度化・専門化していくと考えられ、今以上に長門市外への転院搬送が増加することが予測される。
- 緊急業務の実施に必要な各種プロトコルの作成や、事後検証等の関係上、将来高速道路等の交通網が整備され、時間短縮が図られれば関門医療センターへ搬送したい。

山陰地域では、高度医療サービスの迅速な享受が困難です



▼第3次医療施設60分圏域

利用者の意識

現状と課題

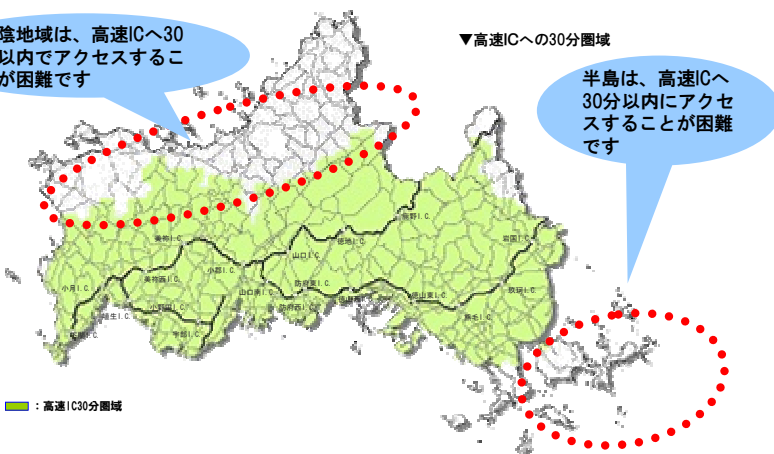
高速ICへの到達時間

山陰地域や県南東部の柳井地域で到達時間が長くなっています

- 山口県南部の高規格幹線道路は概ね整備されていますが、山口県北部の整備が遅れていることから、山口県全体の高速IC30分圏人口カバー率は90%と高いものの、山陰地域や県南東部は到達圏域外となっています。

山陰地域は、高速ICへ30分以内でアクセスすることが困難です

半島は、高速ICへ30分以内にアクセスすることが困難です



現状の分析